

基本
施策

2 HIV 検査・相談体制の充実

事業
目標

今後 5 年間で
・ 年間の HIV 検査受検者数を 1.5 倍にする
・ 年間の MSM の HIV 検査受検者数を 1.5 倍にする
・ 年間の HIV 検査初回受検率 50%を維持する

具
体
的
な
取
り
組
み
実
績
及
び
評
価

HIV 検査受検者数及び MSM の HIV 検査受検者数

：大目標・副次目標の項【P8～9】参照

HIV 検査初回受検率

平成 22 年度 実績値	平成 28 年度 目標値	年次別実績値（受検者アンケートより）			
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
47.6%	50%を維持	47.4%	51.5%	49.3%	46.4%
年次別目標値		50%	50%	50%	50%

・平成 25 年度以降、初回受検率は減少傾向にあるが、目標値の 50%近くを維持している。

(1) 各区保健福祉センターの体制整備

各区保健福祉センターの受検者数、陽性者数、陽性率の推移

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
受検者数	4,581 人	4,564 人	3,873 人	4,651 人	4,768 人	4,688 人
陽性者数	38 人	29 人	17 人	22 人	23 人	23 人
陽性率	0.83%	0.64%	0.44%	0.47%	0.48%	0.49%

(区における臨時検査受検者数を含む)

検査時間帯別受検者数平均（区における臨時検査受検者数除く）

	平成 26 年度		平成 27 年度	
	午前（9 時 30 分 ～11 時）	午後（2 時～ 3 時 30 分）※	午前（9 時 30 分 ～11 時）	午後（2 時～ 3 時 30 分）※
実施回数	486 回	94 回	486 回	93 回
受検者数	3,557 人	1,127 人	3,528 人	1,103 人
1 回あたりの 平均受検者数	7.3 人	12.0 人	7.3 人	11.9 人

※午後実施区：淀川区（月曜日）、北区（水曜日）

・平成 26 年度曜日別受検者数及び陽性者数、陽性率：【参考資料 P34】

・平成 27 年度曜日別受検者数及び陽性者数、陽性率：【参考資料 P35】

・平成 26 年 4 月より、北区水曜日の時間帯を午前から午後に変更。

- ・平成 28 年 4 月より、中央区の午前週 5 回を午前週 3 回に集約し、月 1 回午後に即日検査を導入。ただし、即日検査は平成 28 年 5 月から開始。
- ・平成 24 年度より、保健福祉センターにおける HIV 検査件数増加のための担当者会を開催。
(平成 24 年度 2 回、平成 25 年度 3 回、平成 26 年度 4 回、平成 27 年度 3 回)
- ・午後検査の増設など受検者数の向上に努めているが、受検者数が伸び悩む現状があり、目標を達成できる見込みではない。

(2) 委託検査体制の整備

委託検査の受検者数、陽性者数、陽性率の推移

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
受検者数	6,336 人	5,206 人	5,518 人	7,077 人	7,233 人	7,115 人
陽性者数	49 人	31 人	20 人	40 人	40 人	40 人
陽性率	0.77%	0.60%	0.36%	0.57%	0.55%	0.56%

- ・平成 23 年 4 月は、改修工事实施のため休止。
- ・平成 25 年 4 月より、土曜日の検査を即日検査へ変更。
- ・平成 25 年 12 月より、土曜日及び日曜日の定員を 40 人から 50 人へ拡大。
- ・平成 28 年 4 月より、日曜日の検査に携帯端末からの予約制を導入。
- ・検査種別の変更や定員拡大の受検者数向上策の効果もあり、本市受検者数の 6 割を占めている。

(3) キャンペーン検査・相談、イベント検査・相談等の実施

保健福祉センター・保健所における

夜間休日イベント検査の実施状況（平成 24 年度～平成 27 年度）

場所	実施日	時間帯	種別	受検者数	陽性者数
北区役所	H25.6.5、12、19、26(水)	14:00～15:30	通常	20 人	0 人
	H25.11.29(金)	17:00～19:00		37 人	0 人
中央区役所	H25.12.13(金)	17:00～19:00	通常	16 人	0 人
	H26.11.28(金)	16:30～18:00	即日	13 人	0 人
淀川区役所	H24.11.30(金)	17:30～19:30	通常	42 人	0 人
	H25.12.6(金)	17:00～19:00		25 人	0 人
	H26.6.20(金)	17:30～19:00		20 人	0 人
	12.5(金)	17:30～19:00		21 人	0 人
	H27.12.11(金)	17:00～19:00		35 人	0 人
西成区役所	H26.12.8(月)	17:30～19:00	即日	30 人	0 人
	H27.12.4(金)	17:30～19:00		22 人	0 人
保健所	H25.11.25(月)	17:30～19:00	即日	4 人	0 人

コミュニティーセンター「dista」における

MSM 向け夜間休日イベント検査の実施状況（平成 26 年度～平成 27 年度）

場所	実施日	時間帯	種別	受検者数	陽性者数
dista	H27.1.17(土)	14:00～18:00	通常	60 人	1 人
	8.31(月)	15:00～19:00		25 人	0 人
	9.27(日)	14:00～18:00		27 人	3 人
	10.17(土)	14:00～18:00		23 人	4 人
	H28.1.16(土)	14:00～18:00		52 人	0 人
			合計	187 人	8 人

- ・平成 26 年度より、コミュニティーセンター「dista」において MASH 大阪・厚労科研と協働し、MSM を対象としたイベント検査「dista でぴたっとちえっくん」を実施。あわせて検査前ガイダンスや結果説明において、知識の普及啓発や定例検査の紹介等を行っている。

陽性率は他の検査場と比べと高い値となっている。

【参考：平成 27 年度検査場別陽性率】

	全体	内訳	
		MSM(※)	その他
北区	0.76%	3.75%	0.10%
中央区	0.19%	1.12%	0.07%
淀川区	0.30%	3.85%	0.00%
CCN	0.56%	2.00%	0.18%
dista	5.51%	5.51%	—

(受検者数 127 人、陽性者数 7 人)

※平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月に検査場で実施した「検査を受ける人を対象としたアンケート」（厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策事業）結果から得られた MSM の受検割合を基に算出。

- ・ゲイ・バイセクシャル男性における HIV 検査受検経験及び関連する要因を明らかにするため、MASH 大阪と連携し、コミュニティーセンター dista を利用した者を対象にアンケート調査（401 名へ調査協力を依頼し、241 名より回答を得た）を実施。検査受検に重要視することは、無料・匿名に次いで即日検査、土日実施であった。

エイズ予防週間実行委員会イベント検査（場所：shot CAST なんば）

平成 25 年 11 月 27 日（水）、29 日（金）18 時～ 受検者数：70 名

平成 26 年 12 月 3 日（水）、5 日（金）18 時～ 受検者数：12 名（MSM 向け）

（4）広報等

- ・大阪市ウェブサイト HIV 検査案内ページに、保健福祉センター HIV 検査受検の流れを掲載。

- ・ウェブサイトや紙媒体、バナー広告、SNS 等周知したい対象者に合わせて広報手段を変え、効果的に情報を伝えるように工夫している。
- ・HIV 検査普及啓発ポスターについては、配布先の工夫等を施してきたが、効果が測れないこと、国の作成するポスターと重複することから平成 27 年度で終了した。

広 報	連 携 先
大阪市・区役所ウェブサイト	
HIV 検査・相談マップ	
おおさかエイズ情報 NOW・たんぽぽ	大阪府・保健所設置市・NPO
HIV 検査普及啓発ポスター	創造社専門学校
エイズのはなし	教育委員会事務局、NPO
南界堂通信	MASH 大阪
イベント検査広報 ・チラシ、コンドーム、冊子、ティッシュなど配布 ・区役所広報誌、生保だより、ポスター ・facebook、twitter、ゲイ向けアプリバナー広告	MASH 大阪、JHC、虹色ダイバーシティ、SWASH、専門学校など

(5) 相談等

保健福祉センター・保健所における相談件数（延）

種別	平成 22 年度 実績値	平成 28 年度 目標値	年次別実績値			
			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
訪問	実 6 件 延 18 件	実 12 件 延 54 件	実 3 件 延 6 件	実 5 件 延 7 件	実 5 件 延 20 件	実 6 件 延 17 件
電話	延 1,068 件	延 3,204 件	延 1,028 件	延 1,131 件	延 1,363 件	延 1,224 件
面接	延 68 件	延 204 件	延 123 件	延 129 件	延 155 件	延 92 件

(参考)

種別	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
面接（結果返し含む）	延 3,829 件	延 4,573 件	延 4,829 件	延 4,811 件

エイズ専門相談（相談場面別）

年度	定例専門相談 （北・中央）	告知時	医療機関	計
平成 24 年度	20 件	14 件	96 件	130 件
平成 25 年度	45 件	22 件	75 件	142 件
平成 26 年度	53 件	15 件	85 件	153 件
平成 27 年度	46 件	16 件	75 件	137 件

外国人を対象とした施策

- ・平成 26 年度に受検者配付用の HIV 検査時外国語資材（英語、中国語）を作成
「HIV/性感染症検査をお受けになる方へ」「HIV/性感染症検査をお受けになった方へ」

- ・外国語 HIV 検査案内

大阪市ホームページ（英語、中国語、韓国・朝鮮語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語）

エンジョイ・オオサカ（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語）

- ・外国語相談

外国語による電話相談事業（NPO 法人 CHARM に委託）

英語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
件数	194 人	131 人	199 人	237 人

トリオフォンを用いたエイズ電話相談（大阪国際交流センター）

英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
件数	9 人	6 人	5 人	6 人

課題及び今後の方向性

（１）各区保健福祉センターの体制整備

（２）委託検査体制の整備

- ・午後検査の増設や即日検査の導入、定員の拡大など受検者数の向上に努めているが、受検者数が伸び悩む現状があり、また新規エイズ患者も減少していない。

今後の方向性

- ・単なる受検者数の増加策ではなく、効率的な陽性者の検出策を講じる必要がある。
- ・関西最大のゲイコミュニティがある北区堂山地域において、試行的に土・日・平日夜間に MSM を対象とした臨時検査を実施した結果、高い陽性率を示すなど効果が得られており、恒常的な実施を検討する。
- ・これらを踏まえ、新たな検査体制を構築する。
- ・受検しやすい体制づくりのため、受検者アンケートによるニーズ把握を引き続き実施する。

(3) キャンペーン検査・相談、イベント検査・相談等の実施

- ・各区保健福祉センターにおけるイベント検査は、受検者数が多いが陽性者を検出できていない。

今後の方向性

- ・各区のイベント検査は、陽性者が効果的に検出できていないものの常設検査場の啓発ツールでもあるため、実施場所・対象者・広報について検討し、引き続き効果的に実施していく。
- ・MSM 向けイベント検査は、高い陽性率を示すなど効果が得られており、MASH 大阪・研究班と協働し継続的に実施する。

(4) 広報等

- ・様々な方法を用いて広報を実施しているが、受検者増加につながりにくい場合がある。
- ・個別施策層の中で、SW、薬物使用者に特化した広報が十分でない

今後の方向性

- ・MSM に向けた検査に関する広報の充実として、対象者の集まる場所（例：ゲイ向けクラブイベント）や、対象者の目に触れる媒体（例：ゲイ向けアプリ）へ検査広報を行う。
- ・SW 支援団体、薬物使用者支援団体と連携し HIV 検査広報について検討する。
- ・研究班や NGO 等と連携し、受検行動につながる啓発資材の開発を目指す。

(5) 相談等

- ・ビザの緩和等により外国人の相談者・受検者が増加しているが、多言語に対応した資材が少ない。特に陽性告知など結果返しの際の資材を検討する必要がある。

今後の方向性

- ・研究班や NGO 等と連携し、外国人対応について検討する。